

# 1. 子どもたちを支える環境づくり

～学校と保護者との協力～

## ◇基礎基本的な生活習慣について

- ・基礎基本的な生活リズムの安定が学習意欲を高めます
- ・計画的な学習によって、学びの定着が図られます

## ◇教師と子どもの信頼関係について

- ・児童・生徒と教師との信頼関係があることで、学びの質が高まります

## ◇家庭での会話によって育まれること

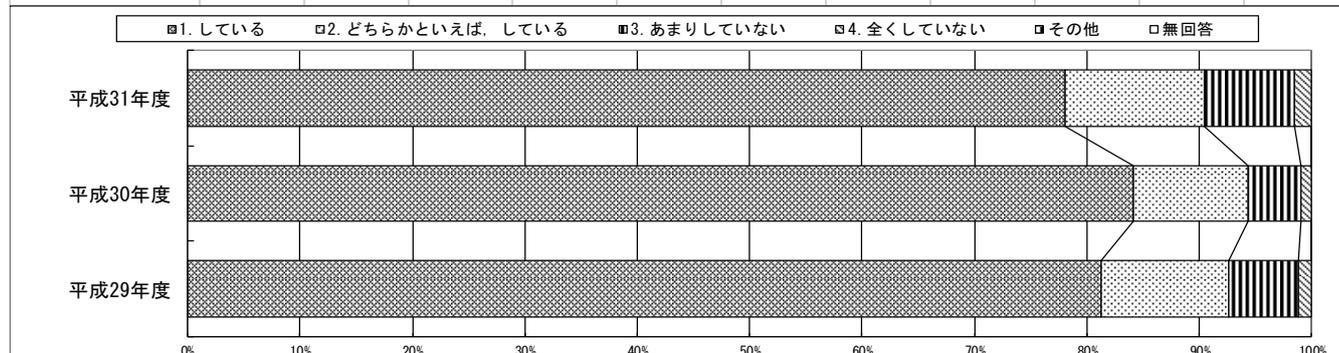
## 基礎・基本的な生活リズムの安定が学習意欲を高めます

子どもたちが健やかに成長していくためには、早寝・早起きを中心とした生活リズムを安定させることが大切です。生活リズムを安定させるためには、家庭の支えが大きく関わってきます。家庭での協力を得て、児童・生徒が規則正しい生活を送ることができ、学校での学習においても集中力を発揮し取り組むことができます。

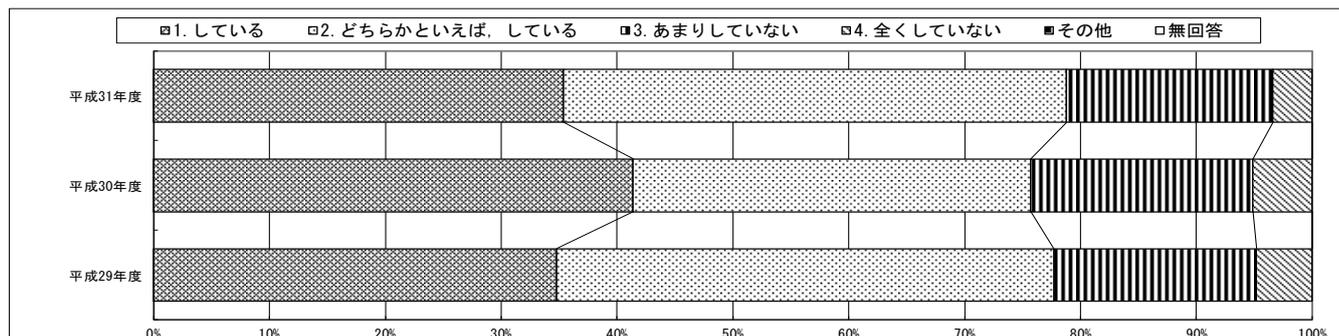
以下の児童・生徒質問紙調査では、児童・生徒の基本的な生活習慣についての項目です。【児童・生徒質問紙番号（1）「朝食を毎日食べていますか」】、【児童・生徒質問紙番号（2）「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」】、【児童・生徒質問紙番号（3）「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」】については、多くの家庭の支えによって、児童・生徒が安定した生活習慣を送ることができていることがわかります。結果からわかるように、安定した生活を送ることが習慣化することによって、子どもたちは学校での授業においても、集中して取り組むことができます。家庭でのサポート体制が充実しているところが強みです。これからも、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に取り組んでいきましょう。

### 【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(1)	朝食を毎日食べていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる (1+2)		その他	無回答
平成31年度	78.0	12.4	8.0	1.5			90.4		0.0	0.0
平成30年度	84.2	10.2	4.6	1.0			94.4		0.0	0.0
平成29年度	81.3	11.3	6.2	1.2			92.6		0.0	0.0

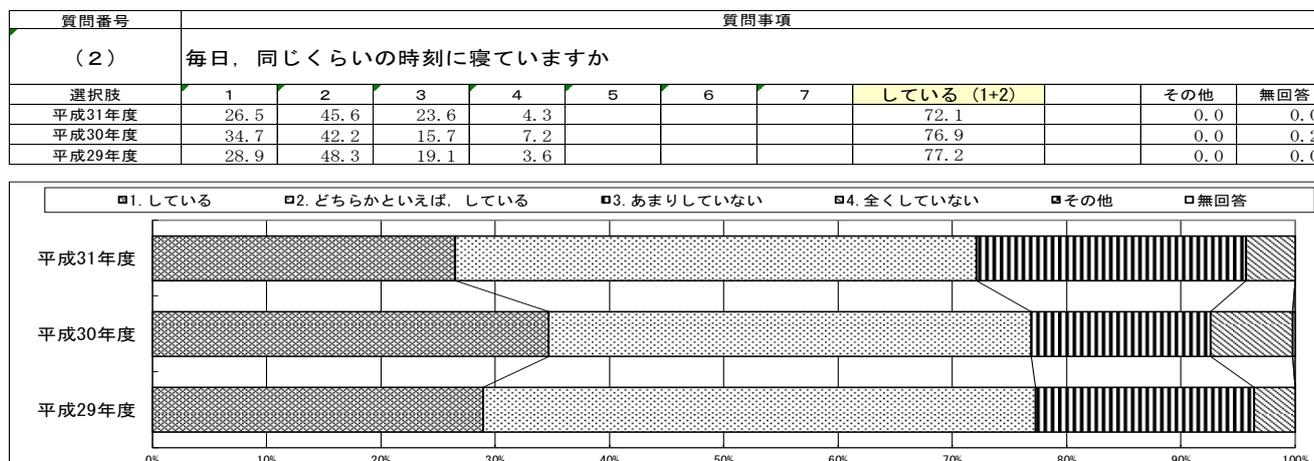


質問番号	質問事項									
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	している (1+2)		その他	無回答
平成31年度	35.4	43.4	17.8	3.4			78.8		0.0	0.0
平成30年度	41.4	34.3	19.2	5.1			75.7		0.0	0.0
平成29年度	34.8	42.9	17.5	4.8			77.7		0.0	0.0





【中学校生徒質問紙】



## 計画的な学習によって、学びの定着が図られます

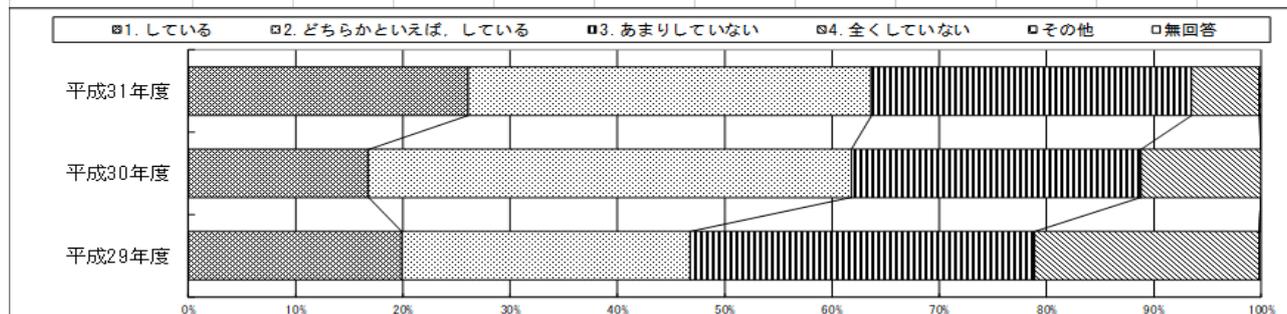
昨年度の調査結果においては、小学校・中学校ともに計画的に家庭学習をしている児童・生徒が多く、それに伴って、家庭学習の時間が増えていました。

今年度の小学校児童質問紙においても、計画的に学習に取り組む児童の姿が見られます。年を重ねるごとに割合が増加し、学習習慣が定着している様子が伝わってきます。また、家庭学習の時間も増えていることは、強みとなっています。一方、中学校生徒質問紙においては、昨年度より低い傾向が見られています。

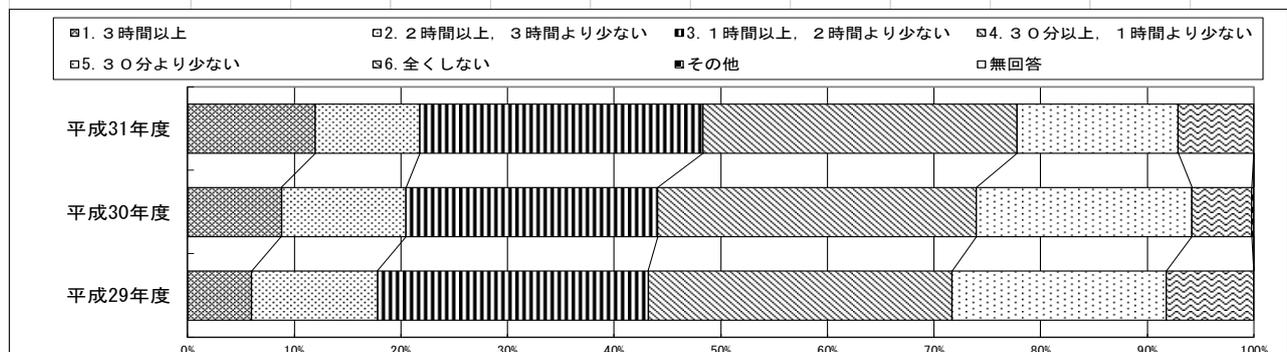
家庭において計画的に学習することで、学校で学んだことを、確実に習得することができます。日々の積み重ねの上に学習の定着が図られます。家庭で学習に取り組む習慣を身に付けることによって、学習習慣だけでなく、学習したことを身に付けることができます。学校から帰宅した後の時間の過ごし方について、今一度考える機会を家庭で持って下さい。

### 【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	している (1+2)		その他	無回答
平成31年度	26.1	37.6	29.8	6.3			63.7		0.2	0.0
平成30年度	16.8	45.0	27.0	11.2			61.8		0.0	0.0
平成29年度	19.9	26.9	32.1	20.9			46.8		0.0	0.2

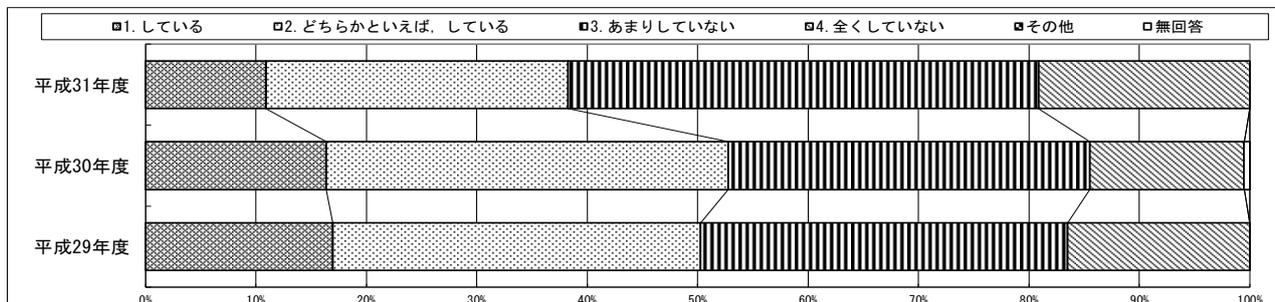


質問番号	質問事項									
(18)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）									
選択肢	1	2	3	4	5	6	2H以上	1H以上	その他	無回答
平成31年度	12.0	9.8	26.6	29.5	15.1	7.1	21.8	48.4	0.0	0.0
平成30年度	8.8	11.7	23.6	29.9	20.2	5.6	20.5	44.1	0.2	0.0
平成29年度	6.0	11.8	25.4	28.5	20.1	8.2	17.8	43.2	0.0	0.0

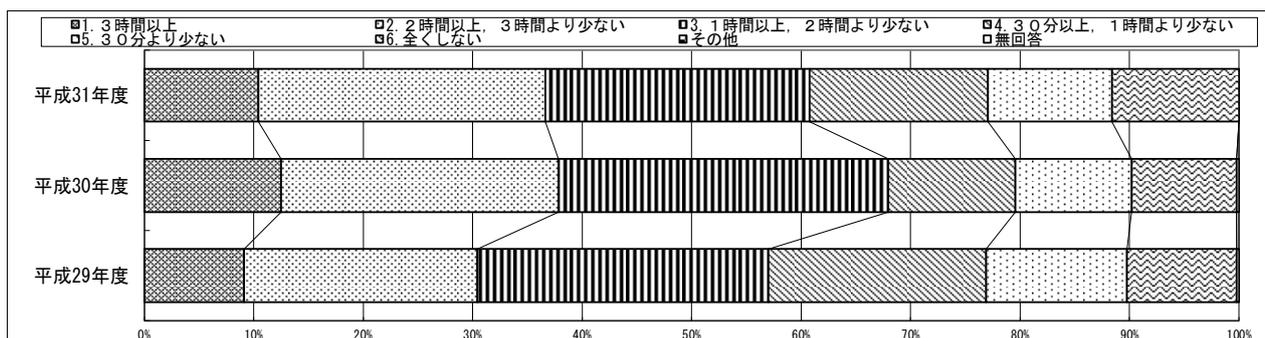


【中学校生徒質問紙調査】

質問番号	質問事項										
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
								している (1+2)		その他	無回答
平成31年度	10.9	27.4	42.6	19.1				38.3		0.0	0.0
平成30年度	16.4	36.4	32.8	14.0				52.8		0.0	0.5
平成29年度	17.0	33.3	33.3	16.5				50.3		0.0	0.0



質問番号	質問事項											
(18)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わってる時間も含む）											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
									2H以上	1H以上	その他	
無回答												
平成31年度	10.4	26.2	24.1	16.3	11.3	11.6			36.6	60.7	0.0	0.0
平成30年度	12.5	25.3	30.1	11.6	10.6	9.6			37.8	67.9	0.0	0.2
平成29年度	9.1	21.3	26.6	19.9	12.9	10.0			30.4	57.0	0.0	0.2

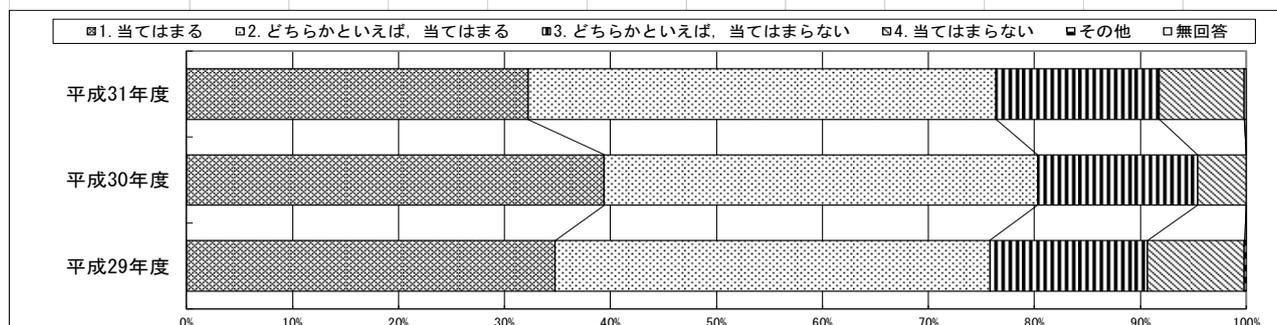


## 児童・生徒と教師との信頼関係があることで、学びの質が高まります

児童生徒が相互によさを認め合い、励まし合い、支え合う人間関係は、学級の基盤です。児童生徒が充実した学校生活を送るためには、「自分のことが好き」という気持ち（自尊感情）を育み、学級を構成する一員であるという所属感をもたせ、周りから認められているという充実感を味わわせるようにすることが必要です。さらに、学級を経営していく上で基本的に大切なことは、児童・生徒と教師の信頼関係です。以下の「自分には、よいところがあると思いますか」との質問紙調査では、多くの児童がよいところがあると感じています。また、「先生から、あなたのよいところを認められている」との質問紙調査においても同様です。この結果により、小学校においては、児童から教師への一定の信頼関係が見て取れるところが強みです。しかしながら、中学校では、昨年度と比べると、ともにポイント下がっていることがわかり課題として挙げられます。生徒の充実感が低くなっているため、信頼関係の構築とともに、日常の生徒の関わりの中で、教師が生徒のよさを認める教育がより重要となってくると考えられます。

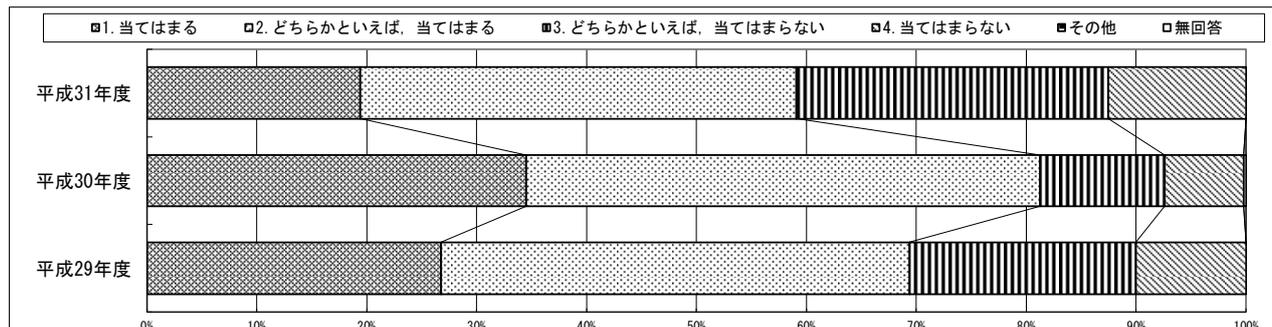
### 【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(5)	自分には、よいところがあると思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる (1+2)		その他	無回答
平成31年度	32.2	44.1	15.4	8.0			76.3		0.0	0.2
平成30年度	39.4	40.9	15.1	4.6			80.3		0.0	0.0
平成29年度	34.8	41.0	14.9	9.1			75.8		0.2	0.0



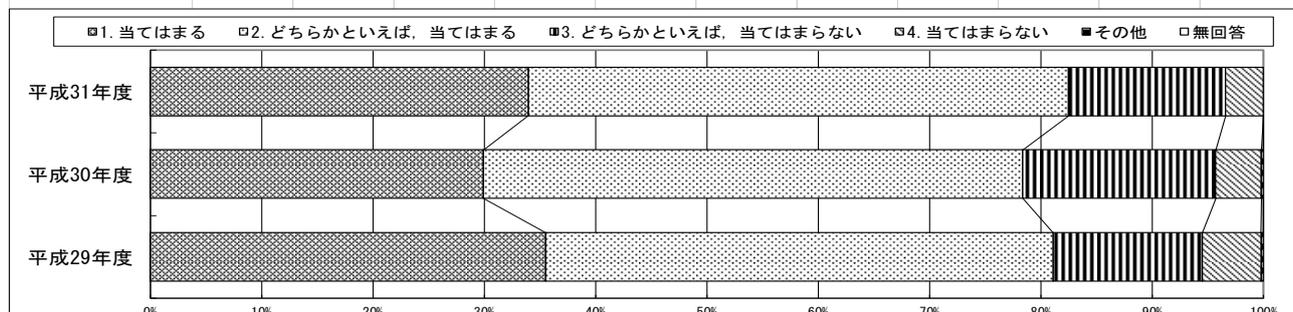
### 【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項									
(5)	自分には、よいところがあると思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる (1+2)	その他	無回答
平成31年度	19.4	39.7	28.4	12.5				59.1	0.0	0.0
平成30年度	34.5	46.7	11.3	7.2				81.2	0.0	0.2
平成29年度	26.8	42.6	20.6	10.0				69.4	0.0	0.0



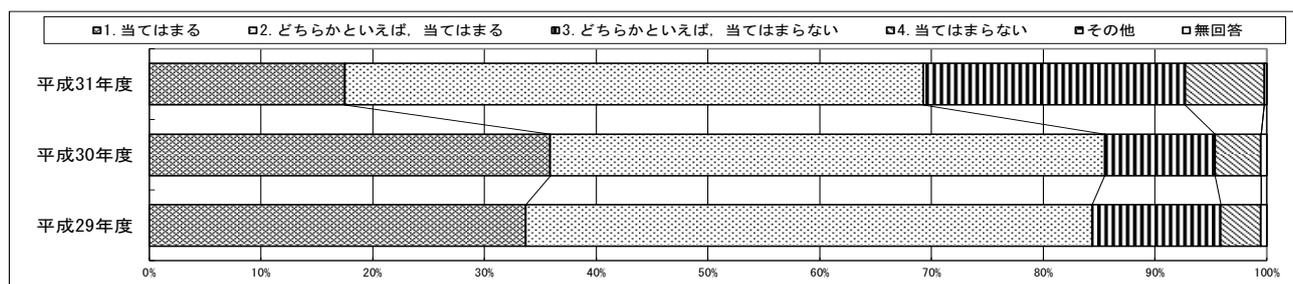
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる (1+2)		その他	無回答
平成31年度	33.9	48.5	14.1	3.4			82.4		0.0	0.0
平成30年度	29.9	48.4	17.3	4.1			78.3		0.2	0.0
平成29年度	35.5	45.6	13.4	5.3			81.1		0.2	0.0



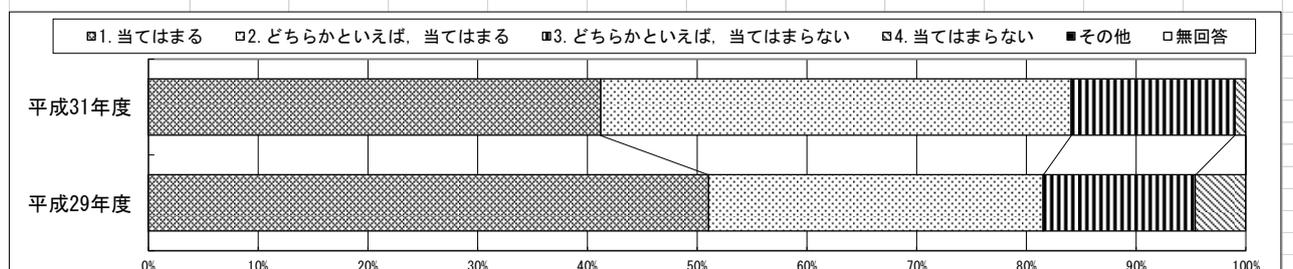
【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項									
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる (1+2)	その他	無回答
平成31年度	17.5	51.8	23.4	7.1				69.3	0.0	0.2
平成30年度	35.9	49.6	9.9	4.1				85.5	0.0	0.5
平成29年度	33.7	50.7	11.5	3.6				84.4	0.0	0.5



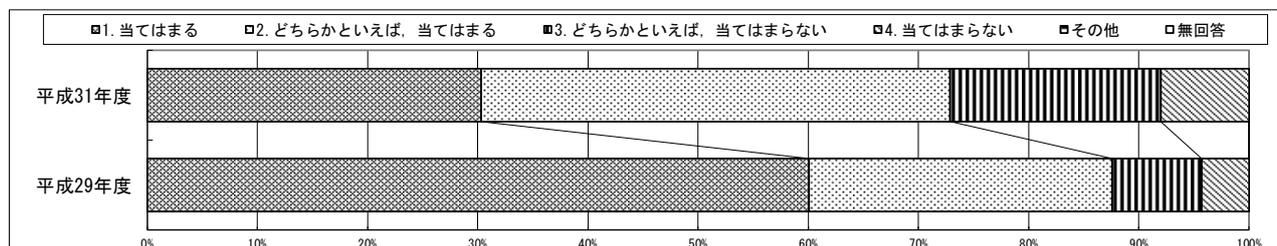
【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(11)	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる (1+2)		その他	無回答
平成31年度	41.2	42.9	14.9	1.0			84.1		0.0	0.0
平成29年度	51.1	30.5	13.9	4.6			81.6		0.0	0.0



## 【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項									
(11)	学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	当てはまる (1+2)	その他	無回答
平成31年度	30.3	42.6	19.1	8.0				72.9	0.0	0.0
平成29年度	60.0	27.5	8.1	4.3				87.5	0.0	0.0



また、上記項目の【児童・生徒質問紙(11)「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか】では、多くの児童、生徒が所属する学級で、友達同士で協力したり、話し合ったりする活動を通す中で、うれしかった経験を持つことができていると回答しています。

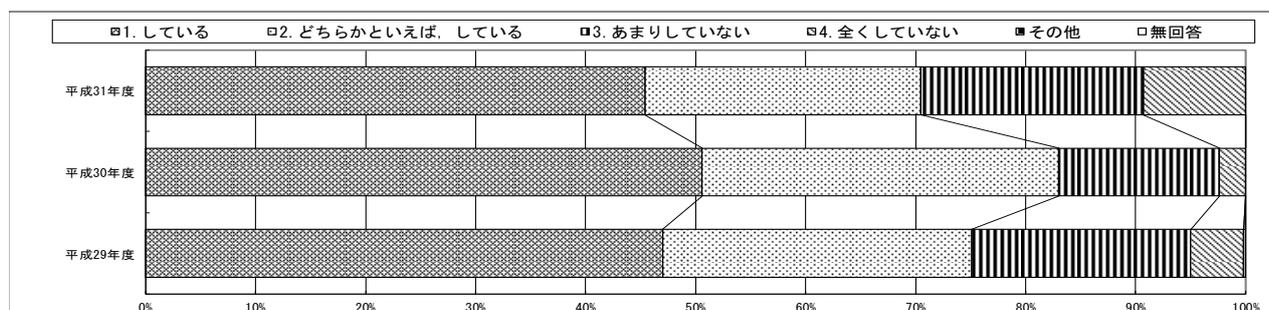
安全で安心できる、自分の居場所がある学級を子どもたちは望んでいます。そのような安心できる場であることで、子どもたちは、自分の考えを发表或し、友達と一緒に協力したりすることができます。加えて、特に小学校では、学級経営は授業づくりの基盤と言えます。安定した学級経営を続けることが、子どもたちへの学習指導をよりよいものへと導き学習意欲を湧き立てます。児童・生徒にとって、自分を表現できる学級づくりができていることは強みであると言えます。

新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の実現が柱の一つとなっています。よい授業を行うためには、充実した学級経営を行うことが求められます。今後も、授業の基盤となる、学級づくりに丁寧に取り組むことはとても大切なことです。

## 家庭での会話によって育まれるもの

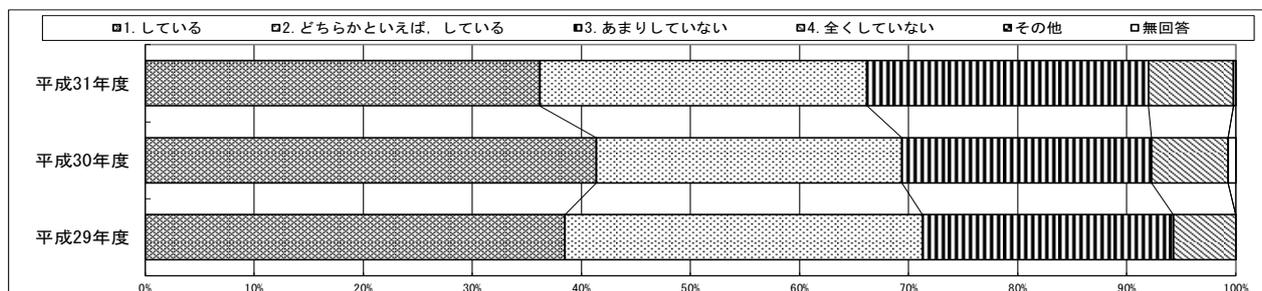
## 【小学校児童質問用紙】

質問番号	質問事項									
(4)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	している (1+2)	その他	無回答
平成31年度	45.4	25.1	20.2	9.3				70.5	0.0	0.0
平成30年度	50.6	32.4	14.6	2.4				83.0	0.0	0.0
平成29年度	47.0	28.1	19.9	4.8				75.1	0.0	0.2



## 【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項									
(4)	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	している (1+2)	その他	無回答
平成31年度	36.2	30.0	25.8	7.8				66.2	0.0	0.2
平成30年度	41.4	28.0	22.9	7.0				69.4	0.0	0.7
平成29年度	38.5	32.8	23.0	5.7				71.3	0.0	0.0



小学校・中学校ともに、【児童・生徒質問紙番号（4）「家の人と学校での出来事について話をしますか」】については、話をする児童・生徒の割合が低い傾向が見られました。

前述の通り、規則正しい生活習慣、学習習慣、食習慣、運動習慣を確立させることによって、子どもたちの生活基盤を整え、学習へ向かう意欲を高めることができます。それとともに、学校での出来事を話す時間や場を確保し、日頃から家族間の会話を増やすことも重要です。家族との会話が少ないことは課題として挙げられます。

学校では学級経営を中心とした良好な人間関係を育むことに取り組み、家庭では基本的な生活習慣や学習習慣といった安定した家庭生活を送ることが大切となってきます。つまり、学校・家庭における生活基盤を安定させることが学力を育む礎となってきます。強みとして捉えられる点と課題と考えられる点がありましたが、学校とともに、保護者との関わりの中で、子どもたちが育まれていることが、児童・生徒質問用紙から明らかになっていました。今後も、これまで同様の取り組みを続けていき、学力を向上させるため基礎をしっかりと固めていくことが必要と考えられます。